

窓

京都新聞 令和2年(2020年)9月9日(水)

人生のゴール 何だろうか

城陽市・上井麻由佳(大学生・20)

人生のゴールとは一体何なのだろうか。結婚することやゴールという人、目指していた職業になることがゴールという人、「死」が人生の最大のゴールであるという人。このように、人生のゴールとは人によって異なるのである。

ここで一つ疑問に思ったことがある。それは、死と良いものをゴールとして良いのかということである。確かにゴールという言葉の意味として「最終地点」や「最終的な目標」があり、終わりを意味している言葉である。

しかし、死というものは全人類が迎えなければならぬ必然的なものである。そのため、全員が必ず迎える死をゴールとするのではなく、自分なりのゴールというものを決めた方が良いのではないかと考える。死ぬために生きるのではなく、死ぬからにはゴールを経験して生きるのである。

私は保育士になるために大学で勉強している。そのため、私の人生のゴールは保育士になることであり、ゴールした瞬間からまたスタートするのである。

※無断転載不可